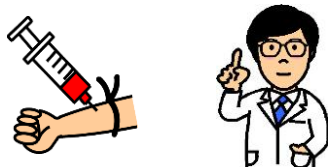


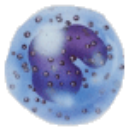


検査の略語と説明

検査結果を見る時の参考にして下さい。



略語	検査名	説明
----	-----	----

血液の数の検査

WBC	白血球 	抵抗力のもとの血液。感染や炎症で増加する 著明に増加(5万以上など)した場合、白血病を疑う 著明に減少(1000以下など)すると感染症(肺炎や敗血症)になる 異常値の場合は、顕微鏡で見る検査(分画)が重要
Blast	白血球を顕微鏡で見る検査 (血液像)	芽球。良い芽球が好中球になる。悪い芽球は白血病細胞
Pro、Myelo、 Meta		好中球に分化する途中の幼若な細胞
Stab、Seg		好中球。細菌を殺す抵抗力のもと
Mono		単球。骨髄が回復するとき、はじめに増える
Lym		リンパ球
Eos		好酸球。アレルギーで増加
RBC	赤血球 	酸素を運ぶ血液。貧血についてはヘモグロビンを指標にする
HGB、Hb	ヘモグロビン(血色素)	貧血の指標。7未満では輸血が必要ことが多い
HCT、Ht	ヘマトクリット	貧血、多血症の指標
MCV		赤血球の大きさ
MCH		鉄分不足で低下
MCHC		ビタミンB12不足などで増加
RET		赤血球になる前の若い細胞。赤血球を作る能力の指標
PLT	血小板 	血を止める血液。出血のしやすさの指標 5万くらいでは、ぶつけるとアザ(紫斑) 3万くらいでは、知らないうちにアザができる 1万では、点状出血、鼻血、消化管出血、脳出血 著明に増加(200万以上など)すると、血栓や出血を起こしやすい

貧血の原因の検査

Fe	鉄	鉄分不足で低下。鉄分不足でMCVの小さい貧血になる
TIBC	総鉄結合能	鉄分不足で増加
UIBC	不飽和鉄結合能	鉄分不足で増加
フェリチン	フェリチン	貯蔵鉄。鉄分の貯金の指標
ビタミン B12		欠乏でMCVの大きい貧血になる
葉酸		欠乏でMCVの大きい貧血になる
ハプトグロビン		溶血性貧血で低下

生化学(肝臓、腎臓、高脂血症、糖尿病、炎症、血液疾患)の検査

CRP		炎症、感染の指標
TP	総タンパク	タンパク質
ALB	アルブミン	タンパク質の一種。栄養不良、肝臓、腎臓病などで低下する
BUN	尿素窒素	腎不全、脱水で増加
CREA、Cr	クレアチニン	腎臓の機能の指標。腎不全で上昇
UA	尿酸	細胞が壊れると上昇する老廃物。痛風や腎結石の原因
T-Bil	総ビリルビン	黄疸の指標。直接と間接ビリルビン。肝疾患、溶血で上昇
GOT、AST		主に肝疾患、胆道疾患で上昇
GPT、ALT		他に心臓、筋肉疾患で上昇
LD、LDH		血液疾患、溶血、肝、心臓、筋、悪性疾患で上昇
ALP		肝、胆道疾患で上昇
γ-GTP	(ガンマ)	肝、胆道疾患、飲酒で上昇
AMY	アミラーゼ	膵臓、唾液腺疾患で上昇
CPK、CK		筋肉や心筋障害で上昇する
Na	ナトリウム	体のミネラル(電解質)
Cl	クロール	体のミネラル(電解質)
K	カリウム	体のミネラル(電解質)。腎不全や細胞が壊れると上昇する
Ca	カルシウム	体のミネラル(電解質)。多発性骨髄腫で上昇する
TC、T-cho	総コレステロール	善玉や悪玉コレステロールをひっくるめた合計量
HDL		善玉コレステロール
LDL		悪玉コレステロール。心臓病、高血圧、脳卒中など動脈硬化性疾患の危険因子
TG	中性脂肪	カロリー摂取過剰、多飲、肥満で高値となり、動脈硬化性疾患の危険因子となる
GLU、BS	グルコース、血糖	採血した瞬間の血糖。直前の飲食の影響を受ける
HbA1c	グリコヘモグロビン	1ヵ月間の血糖の平均の指標。直前の飲食の影響を受けない
IgG、IgA、IgM	Ig: 免疫グロブリン	抵抗力のもとになる抗体。骨髄腫では特定の悪いIgが増える
sIL-2R	可溶性インターロイキン2レセプター	リンパ腫の腫瘍マーカー。1500以上なら再発の可能性を考える